

県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる

<ポイント>

- 1.生産……………8月の鉱工業生産指数（2015年＝100、季節調整値）は97.2、前月比3.3%減と2か月連続で低下した。
- 2.民間設備投資…8月の建築物着工床面積（民間非居住用）は118千㎡、前年同月比111.4%増と3か月振りに前年水準を上回った。
- 3.住宅投資……………8月の新設住宅着工戸数は1,499戸、前年同月比15.4%増と6か月連続で前年水準を上回った。
- 4.公共投資……………9月の公共工事請負金額は431億96百万円、前年同月比6.2%減と2か月連続で前年水準を下回った。
- 5.個人消費……………8月の百貨店・スーパー販売額（全店）は前年同月比1.5%減と2か月振りに前年水準を下回った。9月の乗用車販売台数（普通+小型+軽）は6,651台、前年同月比33.9%減と3か月連続で前年水準を下回った。
- 6.雇用情勢……………8月の有効求人倍率（季節調整値）は1.40倍、前月比0.03pt減と8か月振りに低下した。

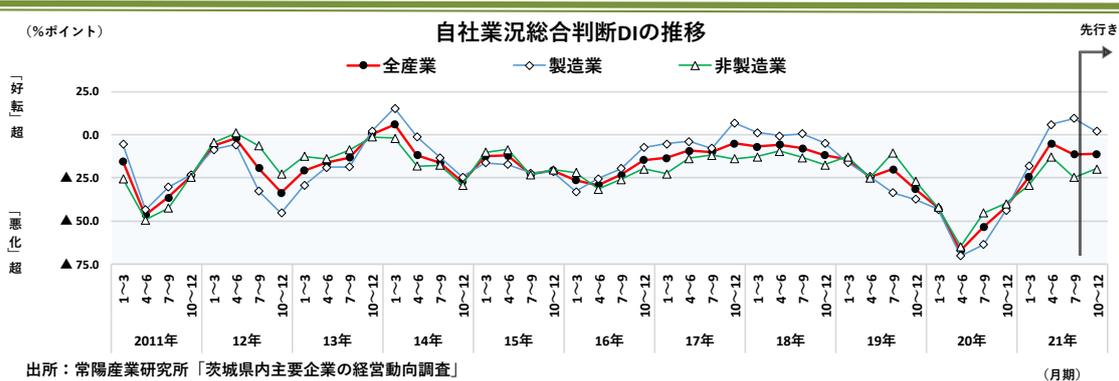
<概況>

県内経済は、新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の影響が続いているものの、生産活動や住宅投資、雇用情勢に持ち直しの動きがみられる。一方、設備投資は各種ビジネスサーベイからは弱い動きが続いており、公共投資も弱含みにある。また、個人消費は小売サイドの販売額や、家計消費支出等からは弱含みで推移している。

当社が実施した「茨城県内主要企業の経営動向調査」（以下、企業調査）によると、21年7-9月期の企業の景況感を表す自社業況総合判断DI（※）は全産業ベースで▲11.3%と、前期（21年4-6月期）比6.3pt低下した。製造業が9.6%と3.5pt上昇した一方、対面型サービス業等で新型コロナ第5波の影響を受けた非製造業が▲24.6%と11.9pt低下し、20年4-6月期を底として続いてきた県内企業全体の景況感の改善に足踏みがみられた。

県内経済の先行きは、新型コロナの感染状況や、政府の行動制限緩和策の行方等に左右される展開が続くとみられる。また、半導体等の世界的な供給制約、原油をはじめとした資源価格の上昇の動きが生産活動に与える影響に関しても注視する必要がある。

※：前年同期に比べ自社業況が「良くなった」との回答割合と「悪くなった」との回答割合の差



生産は持ち直している

8月の鉱工業生産指数（2015年＝100、季節調整値（※1））は97.2、前月比3.3%減と2か月連続で低下した。

業種別にみると、電気機械工業（前月比11.5%増）や輸送機械工業（同9.7%増）等は上昇したものの、県内生産ウエイトの高い生産用機械工業（同22.8%減）や食料品・たばこ工業（同5.7%減）、化学工業（同4.8%減）、鉄鋼業（同10.4%減）の低下が、全体の指数の低下に寄与した。

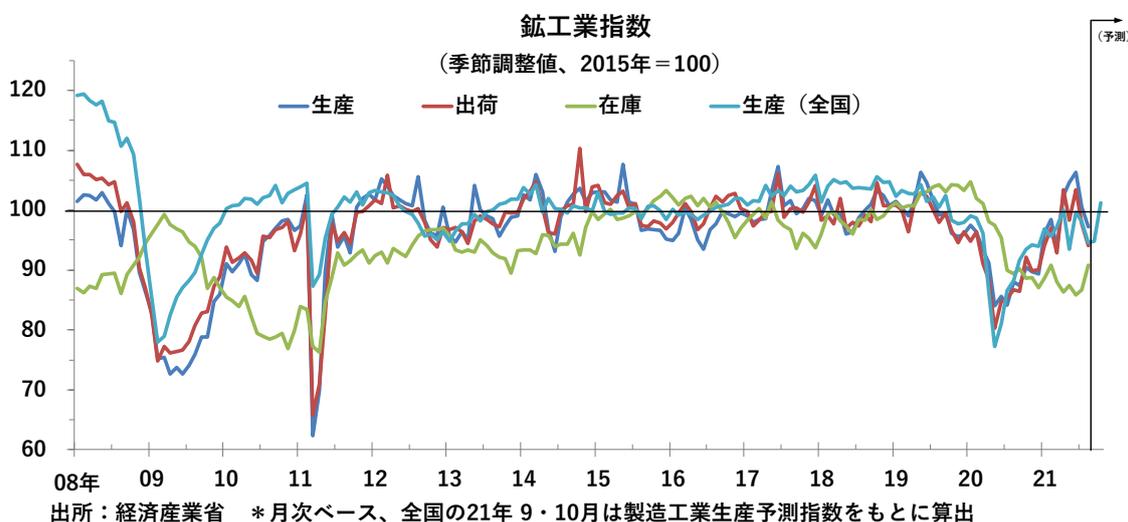
当社が実施した企業調査によると、製造業の生産判断DI（※2）は14.2%と前期比4.2pt上昇した。企業からは「業界全体で生産調整を余儀なくされている」（輸送用機械）といった声がある一方、「大口受注はないが、家庭用の受注がやや増えた」、「コロナ禍の巣ごもり需要で受注増が続く」（ともに食料品）、「新規部品の立ち上げ等により、今後も受注増加が見込まれる」（化学）など、内外需要の回復や企業努力による受注増加を指摘する声が聞かれた。

以上を総合的に踏まえ、県内の生産活動は「持ち直している」との判断を据え置いた。もっとも、資源・資材価格上昇の動向や、世界的な半導体不足が生産活動に与える影響については、県内においても引き続き注視する必要がある。

外需に係る貿易面についてみると、8月の茨城県内税関3支署の輸出額は1,235億円、前年同月比39.5%増と6か月連続で前年水準を上回った。支署別にみると、鉄鋼や有機化合物等の増加が大きく寄与した鹿島が同152.2%増、自動車が増減した日立が同0.2%減、荷役機械、原動機等の増加が寄与したつくばが同79.7%増であった。なお、速報値によると9月の輸出額（3支署合計）は1,235億円、同2.4%減と前年水準を下回る見通しとなっている。

※1：原数値から季節的要因を調整した数値

※2：前年比で生産が「増加した」と「減少した」との回答割合の差

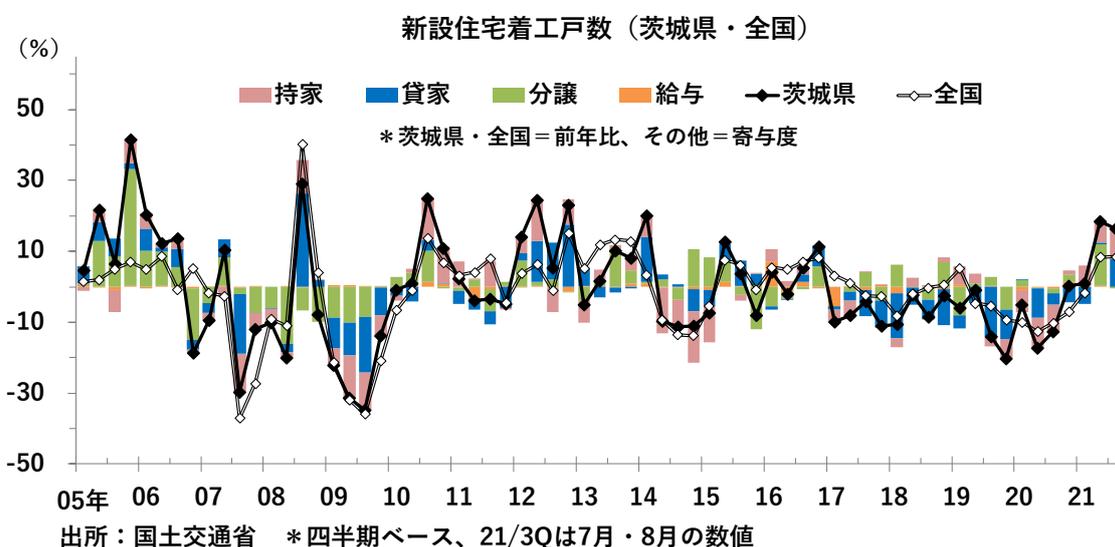


設備投資は弱い動き、住宅投資は持ち直している、公共投資は弱含みにある

8月の建築物着工床面積（民間非居住用）は、倉庫や事務所の着工増加等が寄与し、118千㎡、前年同月比111.4%増と3か月振りに前年水準を上回った。一方、当社の企業調査をみると、21年4-9月期の設備投資実施割合（件数ベース）は全産業で57.9%、前期（20年10月-21年3月期）実績比2.4pt減となった。また、9月の日銀短観調査結果（茨城県）によると、21年度の設備投資計画（金額ベース）は全産業で前年度比6.5%減（前回6月調査から2.7%減の下方修正）であった。以上を踏まえ、民間設備投資は「弱い動きが続いている」との判断を据え置いた。なお、次期（21年10月-22年3月）の設備投資実施割合は全産業で55.8%と、今期比2.1pt減の見通し。

8月の新設住宅着工戸数は1,499戸、前年同月比15.4%増と6か月連続で前年水準を上回った。内訳をみると、主力の持家は767戸、同23.9%増と10か月連続で、貸家は449戸、同85.5%増と3か月連続で増加した。一方、分譲住宅は282戸（うちマンション0戸）、同35.5%減と2か月振りに減少した。着工総数の改善傾向が続いていることを踏まえ、住宅投資は「持ち直している」との判断を据え置いた。もっとも、企業からは「輸入原木製品の不足解消の見通しが立たない」（木材・木製品製造業）といった声が聞かれており、木材の供給不足および価格高止まりが住宅着工に影響する懸念も残っている。

9月の東日本建設業保証の公共工事請負金額は431億96百万円、前年同月比6.2%減と2か月連続で前年水準を下回った。21年度累計（4-9月）でみると、前年同期比10.4%減で推移している（うち県は同2.9%減、市町村は同8.0%減）。公共投資は、前年比でみた公共工事請負金額の改善に足踏みがみられることなどから「弱含みにある」と判断を引き下げた。もっとも、先行きは、国や県の公共工事予算執行に伴い、月々の振れを伴いつつも底堅く推移するとみられる。



個人消費は弱含みにある

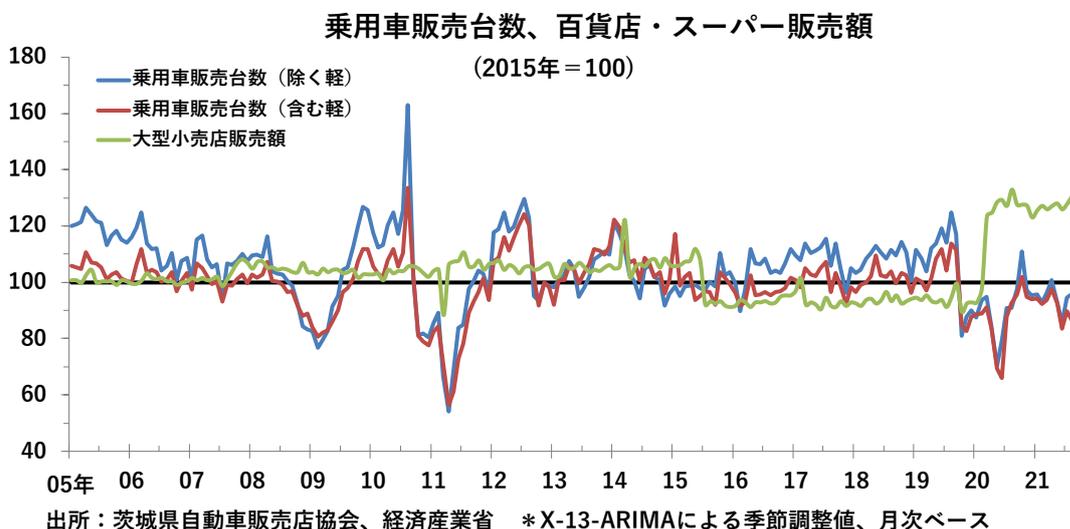
9月の乗用車販売台数（乗用車新規登録台数＋軽乗用販売台数）は6,651台、前年同月比33.9%減と、3か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、普通乗用車（同28.0%減）、小型乗用車（同45.2%減）、軽乗用車（同30.9%減）のいずれも減少した。県内の業界団体からは「（販売店の）受注はかなり多い状況だが、半導体不足による自動車メーカーの減産の影響で納車まで時間を要する状態」との声が聞かれた。

8月の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年同月比1.5%減と2か月振りに、既存店ベースで同2.5%減と4か月連続で前年水準を下回った。8月の専門量販店販売額は、ドラッグストアが同3.7%増と4か月連続で前年水準を上回った一方、家電量販店は同18.4%減と2か月振りに、コンビニは同3.0%減と2か月振りに、ホームセンターは同13.2%減と4か月連続で前年水準を下回った。

小売サイドの販売動向は総じてみれば堅調さがうかがわれるものの、一部でコロナ特需の落ち着きがみられるようになってきた。各業態の8月の販売額を新型コロナ感染拡大前の19年8月と比較すると、百貨店・スーパー（全店ベース）は同38.9%増であった一方、家電量販店は同12.6%減、コンビニは同6.9%減であった。

8月の家計消費支出（水戸市）は前年同月比3.9%減と、5か月連続で前年水準を下回った。県統計課「茨城県景気ウォッチャー調査（21年9月調査分）」の家計動向関連DIをみると、9月の現状判断DIは29.9%と、前回調査（6月）から14.2pt低下した。

以上を踏まえ、個人消費は「弱含みにある」との判断を据え置いた。先行きの個人消費は、乗用車販売などで供給制約の影響が懸念されるものの、政府の行動制限緩和策の進展などにより景況感の改善が期待される。県は、10月7日に茨城版コロナNextの判断指標をStage2からStage1に引き下げた。企業ヒアリング（10月）では「緊急事態宣言の解除後は予約が殺到。コロナ前の水準には至らないが業況は上向いてきている」（宿泊業）といった声も聞かれつつある。



雇用情勢は持ち直しつつある

8月の雇用関連指標を季節調整値でみると、有効求人倍率は1.40倍と前月比0.03pt減と8か月振りに低下した。新規求人倍率は1.93倍と前月比0.30pt減と2か月連続で低下した。また、就業地ベースでの有効求人倍率は1.50倍と、前月と同水準であった。

有効求人数について雇用形態別にみると、正社員は前年同月比11.3%増、パート・派遣・契約社員等は同12.6%増であった。

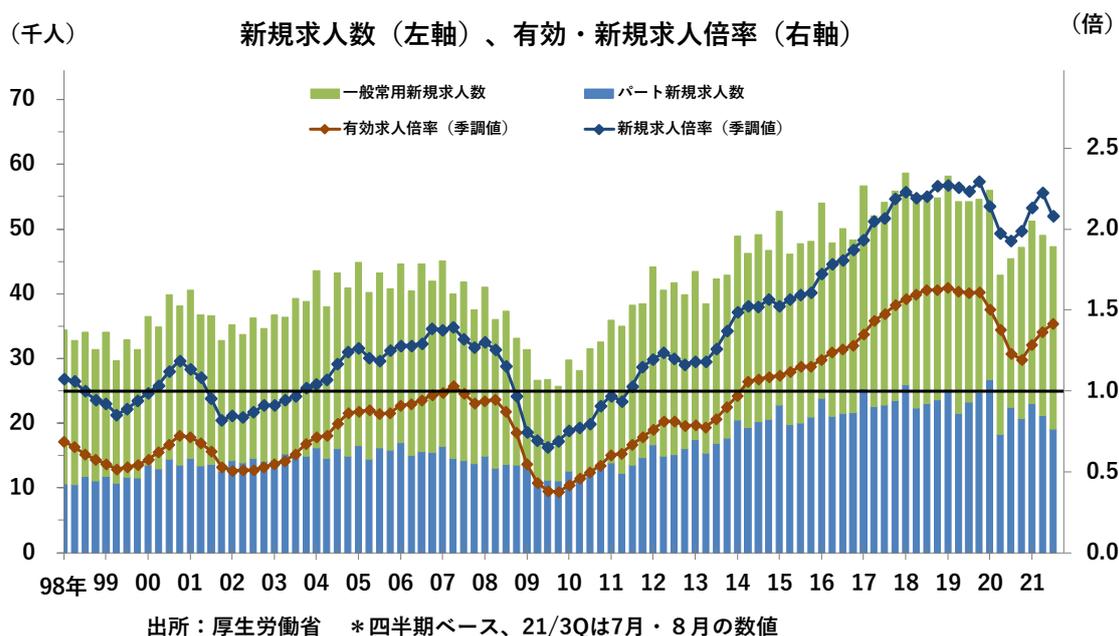
新規求人数は15,580人（前年同月比2.6%増）と、3か月連続で前年水準を上回った。一方、新規求職者数は7,602人（同2.5%増）と3か月振りに前年水準を上回った。

新規求人数（パートを除く）の内訳を産業別にみると、製造業（同48.4%増）や運輸業・郵便業（同31.7%増）が前年水準を上回った一方、卸売業・小売業（同12.1%減）や宿泊業・飲食サービス業（同11.4%減）は前年水準を下回った。

失業者を示す雇用保険受給者数は9,415人、前年同月比14.2%減と3か月連続で前年水準を下回った。求人倍率は有効・新規とも前月比で低下したものの、新規求人数の増加傾向や雇用保険受給者数の減少傾向などを総合的に勘案し、雇用情勢は「持ち直しつつある」との判断を据え置いた。

なお、当社の企業調査によると、21年7-9月期の雇用判断DI(※)は、全産業で▲7.1%と前期比8.7pt低下した。業種別にみると、製造業は▲5.3%と同7.3pt低下、非製造業は▲8.3%と同9.7pt低下した。もっとも先行き（21年10-12月期）は、全産業で▲0.4%と今期から6.7pt上昇し、業種別では製造業が3.4%と8.7pt上昇、非製造業が▲2.8%と5.5pt上昇する見通しである。

※：前年比で従業員数が「増加した」と「減少した」との回答割合の差



茨城県経済動向 基調判断の推移

		基調判断	
2018	3	県内経済は、持ち直しの動きが続いている	
	4	県内経済は、持ち直しの動きが続いている	
	5	県内経済は、持ち直しの動きが続いている	
	6	県内経済は、持ち直しの動きが続いている	
	7	県内経済は、持ち直しの動きが続いている	
	8	県内経済は、持ち直しの動きが続いている	
	9	県内経済は、持ち直しの動きが続いている	
	10	県内経済は、持ち直しの動きが続いている	
	11	県内経済は、持ち直しの動きが続いている	
	12	県内経済は、持ち直しの動きが続いている	
	2019	1	県内経済は、持ち直しの動きが続いている
		2	県内経済は、持ち直しの動きが続いている
3		県内経済は、持ち直しの動きが続いている	
4		県内経済は、持ち直しの動きが続いている	
5		県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている	
6		県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている	
7		県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている	
8		県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている	
9		県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている	
10		県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている	
11		県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている	
12		県内経済は、持ち直しの動きが一服し、弱含んでいる	
2020	1	県内経済は、持ち直しの動きが一服し、弱含んでいる	
	2	県内経済は、持ち直しの動きが一服し、弱含んでいる	
	3	県内経済は、弱含んでいる <small>—新型コロナウイルスの感染拡大により、先行き懸念・不透明感が続く見通し</small>	
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により弱い動きとなっている <small>—先行きは更に悪化懸念</small>	
	5	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—製造業・非製造業とも7割の企業で悪影響を実感</small>	
	6	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—自社業況総合判断DIがリーマンショック後に次ぐ低い値に</small>	
	7	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—先行きは感染の第2波の影響が懸念</small>	
	8	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—個人消費は底入れしつつあるものの、生産の落ち込みが続く</small>	
	9	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—方向感としては持ち直すも、生産などの低水準が続く</small>	
	10	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	
	11	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	
	12	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	
2021	1	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	
	2	県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	
	3	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる	
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる	
	5	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる	
	6	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる	
	7	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる	
	8	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる	
	9	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる	
	10	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる	

各指標の動向判断の推移

		生産	住宅	設備投資
2020	7	一段と落ち込んでいる —新型コロナの影響で、先行きも不透明	厳しい状況にある	弱含みにある
	8	落ち込んでいる —足元は低調ながら、先行きには底入れの兆し	厳しい状況にある	弱い動きとなっている
	9	落ち込んでいる —底入れしつつあるものの、感染拡大以前の水準には未達	厳しい状況にある	弱い動きとなっている
	10	底入れしつつある —最悪期は脱するも、回復のペースは緩やか	厳しい状況にある	弱い動きとなっている
	11	底入れしつつある —最悪期は脱するも、回復のペースは緩やか	厳しい状況にある	弱い動きとなっている
	12	持ち直しつつある	厳しい状況にある	弱い動きとなっている
2021	1	持ち直しつつある	厳しい状況にある	弱い動きとなっている
	2	持ち直しつつある	厳しい状況にある	弱い動きとなっている
	3	持ち直している	弱さがみられる	弱い動きとなっている
	4	持ち直している	弱さがみられる	弱い動きとなっている
	5	持ち直している	弱さがみられる	弱い動きとなっている
	6	持ち直している	持ち直しつつある	弱い動きとなっている
	7	持ち直している	持ち直しつつある	弱い動きとなっている
	8	持ち直している	持ち直しつつある	弱い動きとなっている
	9	持ち直している	持ち直しつつある	弱い動きとなっている
	10	持ち直している	持ち直している	弱い動きとなっている

		公共投資	個人消費	雇用
2020	7	底堅く推移している	底入れの兆しがみられる —ただし、新型コロナの第2波による悪化が懸念	弱い動きとなっている —先行きは雇用環境の不透明感が強まる
	8	底堅く推移している	底入れしつつある —ただし、新型コロナの第2波による悪化が懸念	弱い動きとなっている —雇用保険受給者数が1万人超、今後も増加懸念
	9	底堅く推移している	底入れしつつある —先行きは小売についても不透明感強まる	弱い動きとなっている
	10	増加基調にある	持ち直しつつある —業種・業態や品目によっては弱い動きが継続	弱い動きとなっている
	11	増加基調にある	持ち直しつつある —駆け込み需要の反動減により前年比では減少傾向	弱い動きとなっている
	12	増加基調にある	持ち直しつつある —サービス関連業種では不透明感が続く	弱い動きとなっている
2021	1	底堅く推移している	弱含みにある —小売は概ね好調も、サービス関連の業況が悪化	弱い動きとなっている
	2	底堅く推移している	弱含みにある —サービス関連業種を中心に感染再拡大が悪影響	弱い動きとなっている
	3	底堅く推移している	弱含みにある	持ち直しつつある
	4	底堅く推移している	弱含みにある	持ち直しつつある
	5	足もとでは弱含みにある	弱含みにある	持ち直しつつある
	6	足もとでは弱含みにある	弱含みにある	持ち直しつつある
	7	足もとでは弱含みにある	弱含みにある	持ち直しつつある
	8	足もとでは弱含みにある	弱含みにある	持ち直しつつある
	9	足もとでは弱含みにある	弱含みにある	持ち直しつつある
	10	弱含みにある	弱含みにある	持ち直しつつある

「茨城県経済動向」は旧常陽地域研究センター（常陽アーク）が
1969年より継続してまいりました月例調査を、
2019年4月以降、常陽産業研究所が継承・実施しているものです

表紙の通番は常陽アーク時の通番を引き継いでおります

常陽産業研究所
地域研究部
地域研究センター

- ・ 本資料は、当社が独自に集計・入手しているデータを除き、
2021年10月21日現在で公に利用可能な統計指標に基づき作成されています。
- ・ 公開されている統計指標は、過去に遡及して改訂されることがあります。
統計指標を利用する際は、常に最新の公表資料を参照する必要があります。
- ・ 本資料は、統計指標とそれに基づく判断が正確であるよう最善を尽くしておりますが、
その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・ 本資料に示した将来に関する全ての記述は、現時点での判断を示しているに過ぎません。